

令和6年度第1回岐阜県地方独立行政法人評価委員会

－ 議 事 要 旨 －

1 日 時 令和6年7月22日（月） 13:00 ～ 16:00

2 場 所 Web会議（Zoom）

3 出席者

[委 員] 山口委員長、松波委員、渡部委員

[専門委員] 伊在井専門委員

[法 人] （地方独立行政法人岐阜県総合医療センター） 桑原理事長兼院長、
村上副理事長兼副院長兼事務局長
（地方独立行政法人岐阜県立多治見病院） 近藤理事長兼院長、
後藤副理事長兼副院長兼事務局長
（地方独立行政法人岐阜県立下呂温泉病院） 大平理事長、
高野理事兼事務局長

[設立団体]（岐阜県） 子林健康福祉部次長、山田医療整備課長、佐々木医療対策監、
宮崎医療企画係長

4 議事等

[議題1] 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和5年度業務実績に関する評価について

[議題2] 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の第3期中期目標期間（見込）業務実績報告書について

[議題3] 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の次期中期目標について

[報 告] 地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和6年度事業計画について

5 配布資料 次第、名簿、資料①～④、説明①～④

6 議事要旨

議事概要

[審議事項：議題1]

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令和5年度業務実績に関する評価について

※各病院の理事長から、資料①についてポイントを説明。主な質疑は以下のとおり。

県総合医療センター

【渡部委員】

2023年度の経常利益がマイナス14億円となった主な要因は。

患者満足度（外来・入院）の集計方法は。

【桑原理事長兼院長】

経常利益がマイナス14億円となり昨年度より11億円ほど悪化した大きな要因は、新型コロナ関係の補助金が7億円ほど減少したことと、南棟の稼働により減価償却費が4億円ほど増加したこと。

患者満足度については、一定の期間に入院・外来患者にアンケート調査を行い、割合を算出したもの。入院は連続する2週間に退院する患者、外来は連続する2日間に受診する患者全員にアンケートを配布しているが、回収率は8割程度。

【渡部委員】

アンケート調査は紙で行っているのか。2日間では統計的にも少ないように思うが、アプリにアンケートを組み込むなどしてはどうか。

人事評価システムの運用について、これは県総独自のシステムなのか。

【桑原理事長兼院長】

アンケート調査は紙で行っている。今後回数を増やすことも検討していきたい。アプリの利用率がまだ低いため、アプリを浸透させることに注力している段階。

人事評価は紙ベースで行っている。

【山口委員長】

救急外来患者の小児科の人数が増加しているが、なにか特別な取組みをしたのか。

【桑原理事長兼院長】

小児科の入院患者数については、新型コロナ感染症が広まった2020年度に急減した。現在はコロナ前の状態に戻る過程にある。

【伊在井専門委員】

在宅医療支援体制のレスパイトケアについて、現在は重症の身心障害児のみのレスパイトとなっており、今後高齢者が増えていく中で、高齢者のレスパイトを一時的にでも引き受けてもらいたいと考えているが、その点についてどうか。

患者向け通院支援アプリについて詳しいことをお聞きしたい。

【桑原理事長兼院長】

レスパイトケアについて、現在18歳までの小児を対象にすこやか病棟で行っているため、高齢者向けのスタッフがない状態であることから、現実的には難しい。しかし、元々受け入れていた患者については、18歳を過ぎた方でも受け入れている。

患者サービスアプリについて、スマホアプリで院内外から呼び出し状況や検査結果を確認したり、院内の紹介医の情報を閲覧できたりする機能がある。待ち時間を短縮するものではなく、待ち時間の利便性を高める目的で利用している。患者だけでなく地域の開業医も導入できるように開発を進めている。

【松波委員】

輸血拒否のエホバの証人の方は受け入れ先がなかなか定まらない実態があるが、県総としてはどう考えているか。

【桑原理事長兼院長】

非常に難しい問題であるが、当院としては相対的無輸血という立場をとっており、緊急でやむを得ない場合は輸血を行うことを説明し、医療を選択してもらう形をとっている。この問題は病院だけでなく、地域で話し合っていくべき内容である。

【山口委員長】

情報セキュリティに対する意識向上について、サイバー攻撃を受け電子カルテシステムが利用できないことを想定した初動訓練を行ったことは非常に重要な取組みだと感じた。

県立多治見病院

【松波委員】

造血幹細胞移植の患者の受け入れは全県としているのか。

【近藤理事長兼院長】

岐阜県全域から受け入れる。

【山口委員長】

適切な情報管理について、職員に対する研修会・講習会は実施しているのか。しているのであれば回数や参加率が知りたい。

【近藤理事長兼院長】

メールでの通知はしているが講習会は行っていない。今年度以降に計画していきたい。

県立下呂温泉病院

【渡部委員】

財務情報について収入が6億円減少し、一方で経費が1億円増加した主な要因は。

【大平理事長】

新型コロナ関係の補助金が減少したこと、MRIなどの医療機器の購入による。病床稼働率も低下している。

【渡部委員】

会計的に減損を検討せざるを得ないという課題がでてくるかもしれないが、現時点ではどのように判断しているか。

【大平理事長】

新型コロナの補助金で1年のみ黒字が出たが、2年連続で赤字であるため、令和6年度決算で減損の兆候ありとなる可能性がある。

【渡部委員】

令和6年度で減損の兆候ありとなった結果、減損会計を適用する予定なのか。

【大平理事長】

令和6年度の決算等を見て判断したい。

【松波委員】

職員給与費と医業収益について人件費率が109%となっている。医師不足のため収入が増えないのか。給与費には看護師や事務員も含まれるため、医師以外の職員の削減は検討していないのか。

【大平理事長】

コストがとれる医師がいない。また、長く勤める職員が多いため人数が変わらなくても給与費は年々増加傾向にある。人員削減について検討しているところ。

【松波委員】

スタッフの数が多くても、医師の数が不足していれば、そこがボトルネックになって病院の収入は増えない。医師の確保が難しければ、人員削減を検討されたい。

【大平理事長】

職員については、退職補充を控えている。

【伊在井専門委員】

訪問看護ステーションとの連携について、訪問看護の指導や専門ナースの派遣などは考えているか。また、施設の看取り支援についてどのようなことを行っているのか。

【大平理事長】

訪問ナースや認定ナースがさらに増えたらさらに連携を深めたいと考えている。

看取り支援については、医師が常駐していない介護施設では看取りをできないため、施設と連携し、施設で看取り同意書を作成し病院に送付したうえで、施設で亡くなられた後に病院に送り、病院で死亡診断書を書くという取組みを行っている。

[審議事項：議題2]

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の第3期中期目標期間（見込）業務実績報告書について

※各病院の理事長から、資料②についてポイントを説明。主な質疑は以下のとおり。

県総合医療センター

【松波委員】

他の医療機関への人的支援状況について、2019年に比べて下呂温泉病院への支援の人数が減少しているため、増やしていく必要があるのではないか。全体としても減少傾向がある。

【桑原理事長兼院長】

2021年度以前は当院の専攻医研修プログラムの中で下呂温泉病院への長期ローテーションを希望する医師がいたため、人的支援の数が多くなっているが、2022年度はそのような医師がいなかったため減少している。要望に応じて対応を考えたいと思っている。

【大平理事長】

県総からたくさんの支援をいただき感謝している。科ごとに大学の医局が関係してくるため、下呂の要請が通りにくいこともある。今後も岐阜県全体として協力し合うことが必要だと思っている。

県立多治見病院

【松波委員】

地域連携パスの運用状況について、重要な指標になると思うがどうなっているか。

【近藤理事長兼院長】

狭心症心筋梗塞に関しては完全に多治見シャトルに移行したため、連携パスは使用していない。脳卒中などの連携パスは紙運用のパスであり、年に数回会議を行うことで運用を確認している。

【山口委員長】

周産期母子医療センターの実績について、減少している要因は。

【近藤理事長兼院長】

中津川や恵那で分娩の取扱いが増えたことや、出産人口の減少が大きな要因だと考えられる。

県立下呂温泉病院

【山口委員長】

へき地医療の拠点的機能の充実に関し、不採算部門となりやすい救急、小児、産科医療の提供維持に努めたとあるが、小児や産科医療について数字はでていないのか。

【大平理事長】

小児と産科医療に関して数字は出ていないが、小児科も患者数は減少傾向にある。開業医との連携も含めてどこまで政策医療ができるのか話し合っていく必要がある。

[審議事項：議題3]

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の次
期中期目標について

※事務局（医療整備課医療企画係長）から、資料③についてポイントを説明。質疑なし。

[審議事項：報告]

地方独立行政法人岐阜県総合医療センター・岐阜県立多治見病院・岐阜県立下呂温泉病院の令
和6年度事業計画について

※事務局（医療整備課医療企画係長）から、資料④についてポイントを説明。質疑なし。

以 上（終了時刻 16：00）